

事業所名

キッズサポートつみきのおうち

支援プログラム

作成日

令和7年

2月

1日

法人（事業所）理念		愛着形成を第一に子どもたち、そして支援する職員がいつも笑顔で家庭的な場所（安心できる・くつろげる・自分らしくいられる）であり、個別での関りの中、困り感の背景を探りながら集団の中で生活できる力を引き出し、生きづらさの軽減や集団に対応できるチカラを創る為の場所でありたい。							
支援方針		日常生活の中で困っている事や苦手なことに対して、訓練や練習だけでなく、「遊び」を通して楽しく学びながら、自分で考え挑戦する姿勢や好奇心、意欲を引き出す支援（子どもたちの自発性や本来持っている力を引き出していく。） 発達段階に合わせた遊びや学びの中から、自ら楽しみを見出し成長する力を育む。							
営業時間		8時	30分	18時	30分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	普段の生活の中で「服の着脱・身の周りの整理整頓・清潔・手洗い・排泄・衣服の調節経験・生活リズムの獲得」など実際の生活に基付き普段から身に着けられるように支援している。また、活動の中では「手指の発達を促すために制作や微細運動や新聞紙遊びなど・感覚遊びにて色々な刺激からの五感の発達促進・日々の生活の中での興味関心・生活の中でのスキルの獲得」を目指し行っている。							
	運動・感覚	運動・動作の技能獲得を目指すために運動活動の中で体を思いっきり動かす事や場面に合った動きを行う遊びを活動にて行っている。また、姿勢保持や感覚を十分に刺激する「触覚だけで物を当てる遊びや聴覚を刺激し聞く活動ゆっくり・そっとの動きや粗大運動・微細運動などで色々な個所からの刺激を入れている。その子に合った感覚支援を行うなど年齢に合わせた活動を取り入れている。							
	認知・行動	物の機能や属性・形や色などを知る機会を普段の中で活動に入れ込み、「色水遊び・仲間分け遊び・模倣遊びなど」を取り入れています。また、感覚や認知の偏りをなくしコミュニケーションの困難性から生じる行動障害の予防や色々な行動の経験ができるように「バスタオルブランコ・リズム遊び・散歩など」を行っている。							
	言語コミュニケーション	「お買い物ごっこ・鬼ごっこ・ジェスチャー表現ごっこなど」の活動で人とのコミュニケーションの向上や状況に応じたコミュニケーションの向上を目指し、「読み聞かせ・ごっこ遊び等小集団遊びに個別支援のパズルプログラムや運筆などの遊び」で読み書きの興味関心や言葉の獲得を支援しています。また、口腔機能を高めるための遊びの取り入れも行っている。							
	人間関係社会性	愛着形成と安定を基に子どもたちと信頼関係を築き「安心できる場所」としての確保と情緒の安定を目指しています。また、遊びを通した社会性の発達を目指し、ルールや手順を身に付け、他者とのコミュニケーションを取りつつ社会性を身につける場の提供や仲間作りの支援をしています。加えて、「戸外遊び・公共施設へのお出かけ・お買い物」などでさらなる社会性を身につけて将来必要なスキルを身に付けられるよう支援している。							
家族支援		家族支援加算での面談や家族連携加算での見学/直接支援。 保護者面談とSNS・電話対応での悩み相談を随時行っている。 自宅での困りごとの解決策の家庭での支援アドバイス。園での困りごとの共有。			移行支援		通所中の園との連携にて、面談や送迎時の聞き取りや活動後の本児の様子の申し送り。園での困りごとや解決方法の共有や就学に向けての共通目標の作成や途中経過等の共有により就学への完全移行等に向けた支援を行う。		
地域支援・地域連携		子どもや家族を中心に支援を進めていき、園を中心に他福祉施設との連携を行う。 また、子どもの生活に合わせて、切れ目ない支援を進められるよう務めていく。			職員の質の向上		研修・ケースカンファレンスなど (常に子どもたちの発達と発達に合った遊びを考え、発達の特性や子どもたち一人ひとりの現状の把握と共通理解を深め活動の振り返りや話し合いを行う。)		
主な行事等		季節のイベント(七夕・ハロウィン・クリスマス・節分)は随時活動に入れ込んでいる。 保護者会(保護者懇親会)・避難訓練(火災・地震・水害・不審者想定)など							